

平成26年度新冠町生涯学習講座 簡単にできる陶芸教室



7月10日、新冠町陶芸館で、教育委員会が主催、陶芸サークル会員が講師を務める、生涯学習講座「簡単にできる陶芸教室」が開かれました。教室には6名が参加し、粘土をねる作業から始め、試行錯誤しながら花瓶やお皿などを作り上げました。参加者は、この後、9月に釉薬を使った色付けを行い、作品を完成させます。

東京新冠会 第3回ふるさと訪問



7月17日から20日の4日間、東京新冠会創立30周年記念事業として、14年ぶりにふるさと訪問が行われ、会員29名がふるさとの現状を視察しました。参加者は、1日目の夜に町長や町議会議員と交流し、2日目には、おうちの郷、デイマシオ美術館、ビックレツドファーム、農協のピーマン選果場などを見学しました。また、3日目からは、それぞれが親戚の家を訪れたり、にいかつぷふるさと祭りを楽しみました。参加者の中には、30年ぶりに新冠町を訪れた人もおり、久々のふるさとの景色を懐かしそうに見入っていました。

平成26年度楽器体験講座閉講式 3カ月間の練習の成果を披露



7月14日、町民センターで社会教育課主催の楽器体験講座閉講式が開かれ、4月から練習を積んできた受講生14名が、保護者や関係者の前で練習の成果を披露しました。最初は楽器の名前も持ち方もわからなかった子どもたちですが、軽音楽愛好会ブルーホースの熱心な指導を受け、3カ月間で、曲を合奏できるまでに上達しました。

特別養護老人ホーム恵寿荘 ふれあい家族交流会



7月13日、特別養護老人ホーム恵寿荘でふれあい家族交流会が開かれ、入所者と家族あわせて100名を越える人が集まりました。交流会では、シング・シングによる合唱が披露され、懐かしい童謡や唱歌を聴いたほか、特製のお弁当や1日限りのミニパフェなども振る舞われ、参加者は楽しいひと時を過ごしました。

第18回 にいかつぷふるさと祭り

7月19・20日の2日間、新冠駅前広場を中心に「第18回にいかつぷふるさと祭り」が開かれ、町内外から訪れた人々は、新冠の夏のイベントを満喫しました。

お祭り会場にはたくさんの露店が立ち並び、19日の宵宮祭のステージでは、新冠判官太鼓の演奏や向井成一郎さんのショーが開かれ、また、新冠ばやしと戸塚ばやしの演奏、氷川若衆会を中心とする周慶みこしの練り歩き、俵かつぎリレーなどが行われました。

20日は、朝早くから各自治会の子どもみこしの練り歩きが始まり、新冠中学校吹奏楽部、新冠判官太鼓の演奏、新冠ばやしと周慶みこしの練り歩きと続きました。

そして夕方から、メイン会場のステージでは、町民カラオケ大会が開かれ、その後、北海道のご当地アイドルグループ「ブルーティ」の元気いっぱいステージ、全道の数々のカラオケ大会で優勝を重ねる山中綾菜さんの歌謡ショー、次々に飛び出すものまねジェットコースター「ノブ&フッキー」のショーが開かれ、会場は大きな歓声と観客の熱気に包まれていました。



ま ち の 話 題 あ れ こ れ



7月28日から30日の3日間、新冠小学校で、べんきょうの広場が開かれ、1年生から6年生までの約90名の児童が参加しました。これは、夏休みに入った児童に対し、学習習慣の定着を図るために開かれたもので、参加した児童たちは、教科書や問題集などに真剣なまなざしで取り組んでいました。

新冠小学校 べんきょうの広場 夏休みの学習習慣の定着に